

平成 30 年度埼玉県オハイオ州スカラシップ  
語学・大学留学コース 2月レポート  
「February runs away…」

土屋 美月

皆様、こんにちは。オハイオ州奨学生の土屋美月です。2月の月例レポートです。まさに“2月は逃げる”、ついこの前年が明けて新学期が始まったと思ったら2月があっという間に終わってしまいました。うかうかしたままフィンドレーでの生活が終わってしまわぬよう、気を引き締めていきたいと思います。さて、今月のレポートでは地元の高校訪問、バレンタインデー、国際母語デー、そして学生劇団のミュージカルについてお伝えしていきたいと思います！

### ブラフトン高校訪問

2月の初旬に、地元のブラフトン高校に訪問し、留学や異文化について興味



がある生徒にインタビューを受けてきました。アメリカでの留学生活や日本の文化について、さらに深い社会問題などについても聞かれ、自分なりの意見を述べさせていただきました。インタビュー後には皆でピザを食べながら談笑し、なかなか触れ合うことのできないアメリカの高校生と楽しい時間を過ごすことができました。アメリカの高校自体も初めて伺ったので、校舎や教室の雰囲気なども日本の高校とは全然違い、とても新鮮でおもしろかったです。

### Valentine's Day

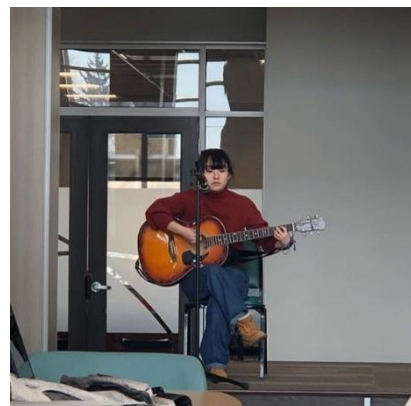
言わずと知れた2月14日バレンタインデー、日本では女性がたくさんのチョコレートを配っているであろう日に、アメリカでの習慣にならい、バレンタインデーカードを作りました。女性がチョコレートをあげる、という文化は日本独自のものです、アメリカでは男女問わず日ごろの感謝や愛をこめてチョコレートに限らず贈り物をするというのがバレンタインデーのようです。学生団体はこの日バラを学生に配っていました。（日本の文化も紹介出来たらと思い、私もチョコレートを手作りして友人に配りました。）



## International Mother Language Day (国際母語デー)

みなさんは国際母語デーという日があるのをご存知でしょうか？言語と文化の多様性、そして母語の尊重の推奨を目的としてユネスコが制定した日です。大学でその日にイベントを行うということで、日本語母語話者としてパフォーマンスを依頼され、日本語で「なごり雪」という曲を演奏させていただきました。私のほかにも、アメリカ人学生はもちろんほかの国の留

学生たちが、母国の歌や踊り、朗読やスピーチを行いました。違う国で生活しているからこそ、このイベントを知ることができ、そして日本語という母語の良さと大切にしたいという気持ちを感じることができました。パフォーマンスも好評だったようで、とても貴重な経験でした。



## 「Newsies」

フィンドレー大学にはたくさんの学科・専攻があり、その中には Theater というメジャーも存在するのですが、その中の学生と興味を持った他学部の学生、そして地域の人たちが劇団員となり、学期に一度か二度、舞台の上演があります。秋学期も一つストレートプレイを鑑賞したのですが、今期はなんとミュージカルでした。私自身も舞台やミュージカルが大好きで、同じコーラスの授業をとっている友人も多く出演するということでしたので（なんと主役も同じジャズバンドに所属するメンバーでした）鑑賞してきました。今回は大学のホールではなく、大きな会館の劇場で上演していました。規模も大きく、とても学生が主体となってやっているものとは思えないほどのクオリティでとても感動しました。自分の好きなことに打ち込み、努力している姿は、ステージ上でもステージ裏でもすごく輝いていて、自分も頑張ろうというモチベーションにもなりました。

